

平成 23 年社会生活基本調査 生活行動に関する結果 要 約

●社会生活基本調査とは

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施している。

平成 23 年社会生活基本調査は、全国の世帯から無作為に選定した約 8 万 3 千世帯に居住する 10 歳以上の世帯員約 20 万人を対象に、平成 23 年 10 月 20 日現在で実施した。

今回公表する結果は、生活行動（自由時間における主な活動）に関する結果である。

なお、生活時間に関する結果は、平成 24 年 9 月及び 12 月に公表する予定である。

●用 語

行動者率………10 歳以上人口に占める過去 1 年間に該当する種類の活動を行った人の割合（％）

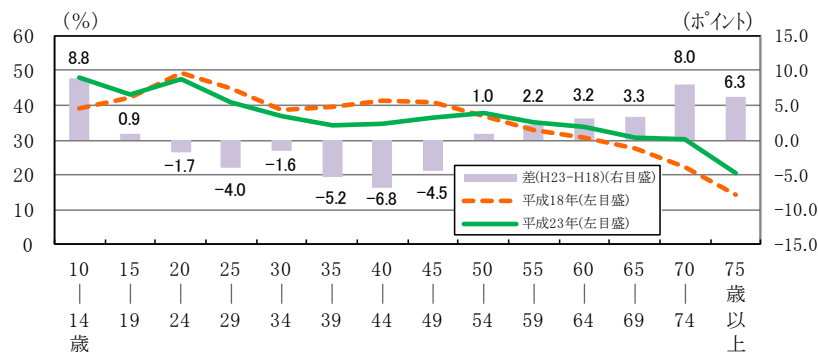
●ホームページ URL

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/index.htm>

1 学習・自己啓発・訓練

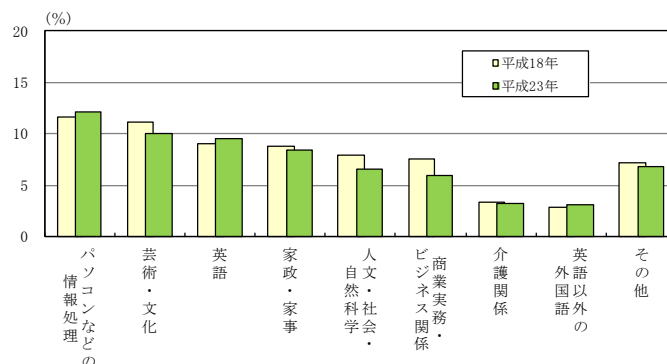
○1 年間に「学習・自己啓発・訓練」（仕事や学業は除く）を行った人は 4017 万人、
行動者率は 35.2％で 5 年前と同じであるが、10 歳代、50 歳以上では上昇

図 1－1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成 18 年、23 年）



○行動者率が上昇したもののうち、「パソコンなどの情報処理」は 50 歳以上、「英語」は 10～14 歳で特に上昇
(「結果の概要」の図 1－5 参照)

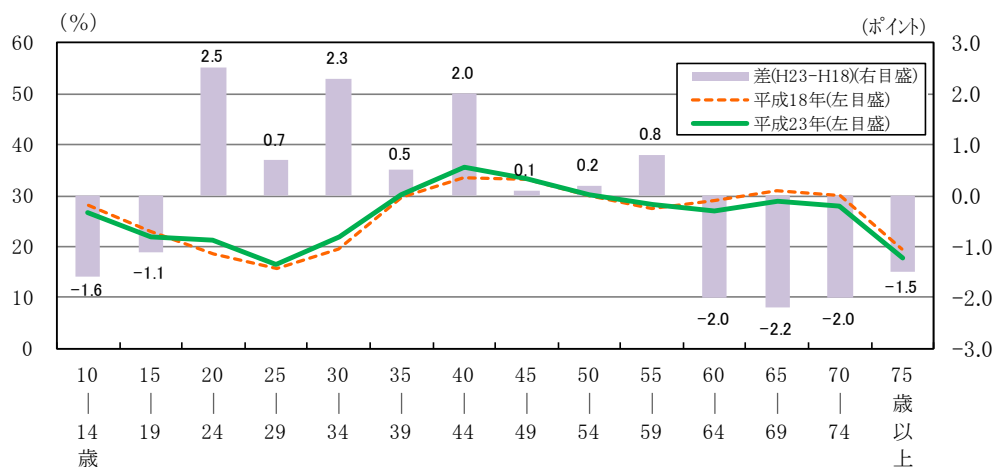
図 1－2 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成 18 年、23 年）



2 ボランティア活動

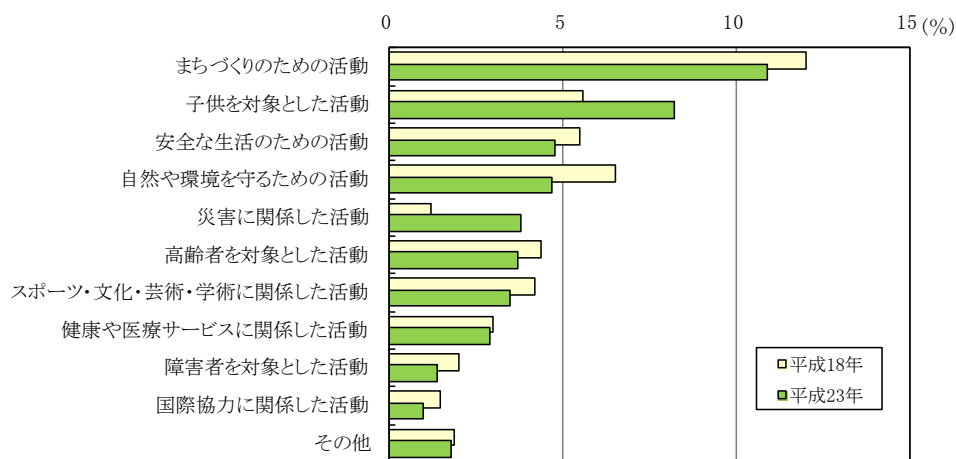
○1年間に「ボランティア活動」を行った人は2995万1千人、行動者率は26.3%で5年前より0.1ポイント上昇。また、20～59歳の広範な年齢階級で上昇

図2-1 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）



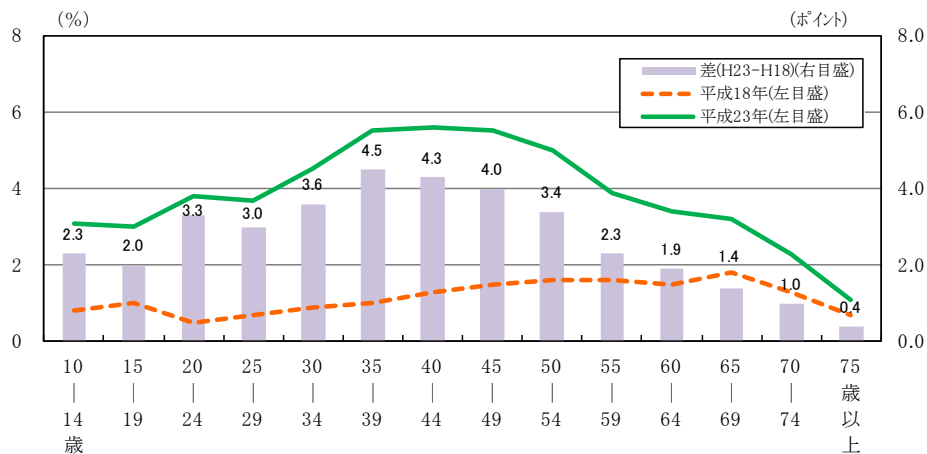
○行動者率は「子供を対象とした活動」、「災害に関係した活動」で上昇

図2-2 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成18年、23年）



○「災害に関係した活動」の行動者率は全ての年齢階級で上昇

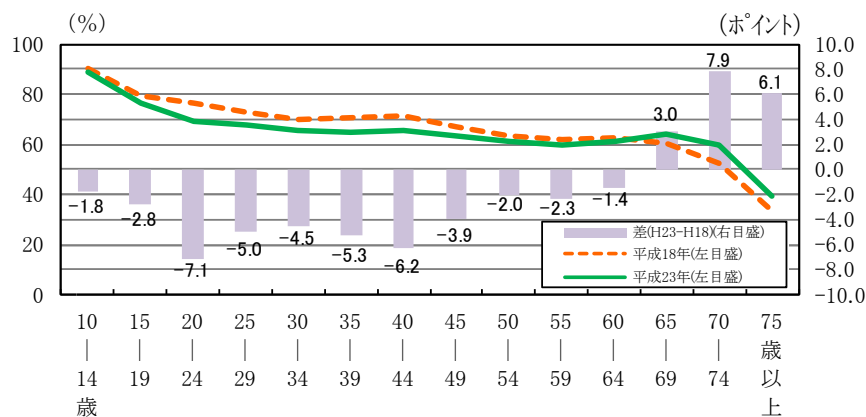
図2-3 「災害に関係した活動」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）



3 スポーツ

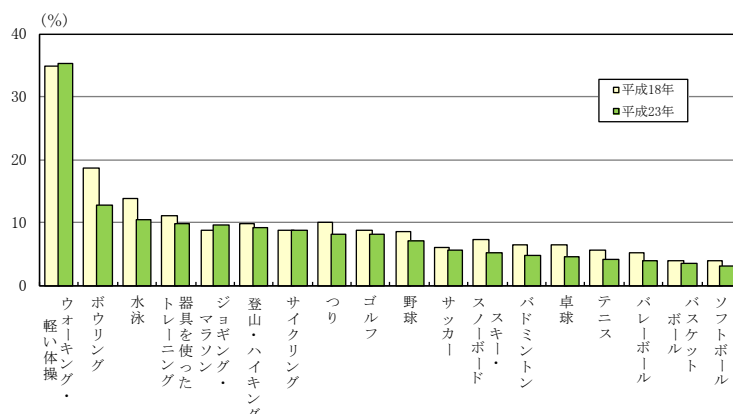
○1年間に「スポーツ」を行った人は7184万3千人、行動者率は63.0%で5年前より2.3ポイント低下したが、65歳以上では上昇

図3-1 「スポーツ」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）



○行動者率は全体的に低下傾向。行動者率が上昇したもののうち、「ウォーキング・軽い体操」は65歳以上、「ジョギング・マラソン」は25～34歳で特に上昇（「結果の概要」の図3-5、図3-6参照）

図3-2 「スポーツ」の種類別行動者率（平成18年、23年）

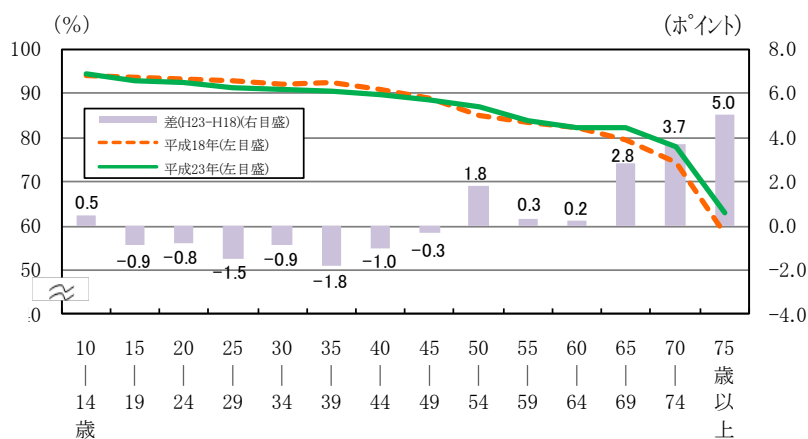


注) 行動者率が3%以上の種類を表章。

4 趣味・娯楽

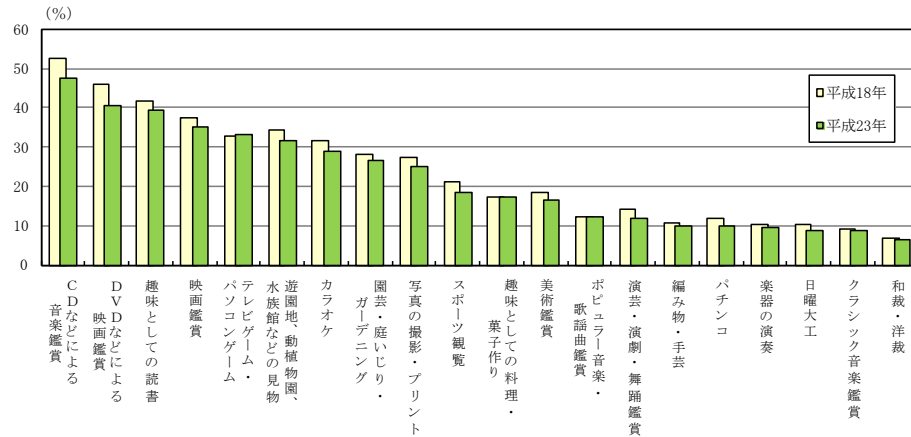
○1年間に「趣味・娯楽」を行った人は9677万人、行動者率は84.8%で5年前より0.1ポイント低下したが、50歳以上では全ての年齢階級で上昇

図4-1 「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率（平成18年、23年）



○行動者率は全体的に低下傾向にあるが、「テレビゲーム・パソコンゲーム」、「ポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞」は僅かに上昇。また、「映画鑑賞」は50歳以上、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は20歳以上で上昇
(「結果の概要」の図4-5, 図4-6参照)

図4-2 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成18年, 23年）

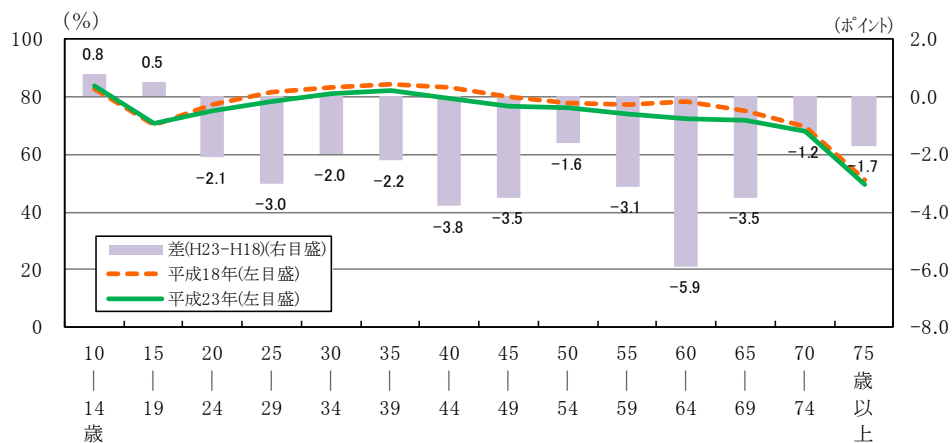


注) 行動者率が上位20の「趣味・娯楽」の種類を表章。

5 旅行・行楽

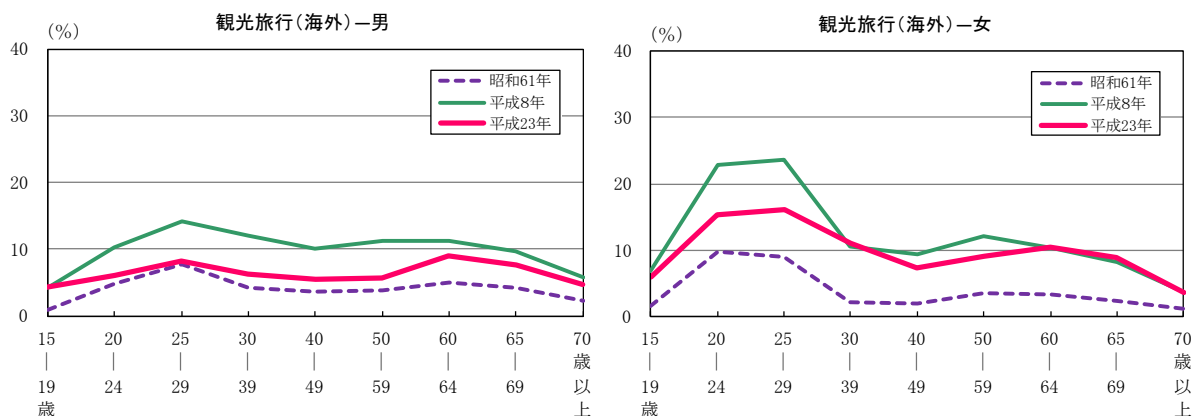
○1年間に「旅行・行楽」を行った人は8353万6千人、行動者率は73.2%で5年前より3.0ポイント低下

図5-1 「旅行・行楽」の年齢階級別行動者率（平成18年, 23年）



○「観光旅行（海外）」の行動者率は、男女共に平成8年調査以降低下傾向

図5-2 「観光旅行（海外）」の男女、年齢階級別行動者率（15歳以上）（昭和61年, 平成8年, 23年）



注) 昭和61年は15歳以上を調査対象としているため、15歳以上の年齢階級別行動者率を表章。